

様式第 1 号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 26 年度 第 2 回 所沢市環境審議会
開 催 日 時	平成 26 年 8 月 4 日 (月) 14 : 00 ~ 16 : 30
開 催 場 所	市庁舎 低層棟 全員協議会室
出席者の氏名	岡田久典、臼井雅子、山野均、針谷さゆり、喜多川通代、加藤武祥、内田勉、足立圭子、中義直、平岩秀隆、岩崎登、島村三郎、坂根裕子
欠席者の氏名	毛利吉成、菊一敦子、戸塚博允
説明者の職・氏名	
議 題	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 (1) 第 2 期所沢市環境基本計画の改訂について (2) 地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) の改訂について (3) その他 4 閉 会
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料 2-1 改訂案の新旧比較 ・ 資料 2-2 指標項目の未達成の原因と改訂の方針 ・ 資料 2-3 所沢市地球温暖化対策実行計画について ・ 参考資料 前回会議でいただいた意見とその対応
担 当 部 課 名	環境クリーン部 部 長 桑原 茂 次 長 越阪部 孝夫 環境対策課 参 事 大澤 稔 みどり自然課 参 事 関谷 佳和 資源循環推進課 課 長 大野 義彦 環境総務課 課 長 大館 真哉 主 幹 並木 和人 主 査 肥沼 克年 主 事 中林 謙太 環境クリーン部環境総務課 電話 04 - 2998 - 9133

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	開会・あいさつ
会 長	あいさつ
事務局	出席者の確認、審議会規定より過半数の出席により会議の成立を確認。
各委員	<p>前回欠席の委員による自己紹介</p> <p>臼井委員 山野委員 内田委員</p>
事務局	<p>傍聴者はなし。</p> <p>参考資料 前回会議でいただいた意見とその対応について事務局より説明。</p> <p>質疑応答</p>
委 員	<p>2 の未達成の原因と改善の方向性について、未達成の原因はある程度分かるが改善の方向性が抽象的、無記入もある。方向性を明確に示したほうがいい。</p>
並木主幹	<p>記載内容は、過去 3 年間の結果の要約を記載したもので、抽象的なものとなっている。具体的な取り組みについては「所沢市の環境」を参照いただきたい。</p>
事務局	<p>(1) 第 2 期所沢市環境基本計画の改訂について</p> <p>改訂案の新旧比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2 - 1 に基づき説明。 <p>指標項目の未達成の原因と改訂の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 2-2 に基づき説明。 <p>資料 2-2p.2 訂正 × 所沢市廃棄物処理等推進審議会 所沢市廃棄物減量等推進審議会</p>

<p>委員</p>	<p>質疑応答</p> <p>全体にわたる質問になる。基準値が示されているが、これの根拠はなにか。もう1点はそれぞれ基準値が評価されているが行政としてどうしても達成したいものがあるかという優先順位はあるか。また達成できない場合の対策が示されるべきではないか。</p>
<p>並木主幹</p>	<p>基準値は平成 22 年度に本計画を作成した際の直近値である平成 21 年度の実績値としている。</p> <p>目標値については策定時は平成 30 年度の最終目標のみを審議した。その後最終目標にどこまで近づいているかを測るために年次目標値を設定している。</p> <p>未達成項目については、所管課がそれぞれ改善の方法を書面で報告している。</p>
<p>委員</p>	<p>追加目標の基準値の定め方はどう決めるのか。また変更項目に関して基準値の定め方はどうするのか。</p>
<p>並木主幹</p>	<p>指標項目については第3回審議会で議論いただくこととなるが。基準値については直近の値で定めていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>指標項目を数値だけで達成、未達成を判断するのは適切ではないのでは。数値ではなくそれぞれ課題を作り、課題を達成できたかどうかとするべきではないか。例えば省エネデーの参加率 7.9 で、7.8 だと駄目というのはちょっと違うのではないか。課題を設定した上で数字は幅を広げるなど、数字だけではない議論をすべきではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>人口高齢化が進む中で、ごみが減っているのではと感じる。</p> <p>基準値より良くなっているのはある程度自然現象的なところもあるのではないか。他市との比較があればわかりやすい。</p> <p>単純に良くなっているのはどういうことか見てわかるよう、表や数字の表し方があればいい。</p>
<p>委員</p>	<p>目標値の基準設定の根拠がなかなか見えてないのではと思う。基準値のあり方がどう作られているのかがわかればみんなで頑張ろうとなると思う。</p>

委員	<p>所沢の数値だけで見ても位置づけがわからない。県、国の数値があれば、所沢が進んでいるのかどうか分かりやすい。コンマ1での×と10の×では違うから、数字だけでなく原因を詳しく分析してほしい。</p>
委員	<p>第5次総合計画の数値を決めるときもそればかり議論して時間がなくなってしまった。傾向と実績で×ができるのは当たり前のこと。最初の立て方がわかるようにというのは「誰に」分かりやすいのかということ。数値だけにとらわれすぎるのはよくない。どういう気持ちで基準を決めたのかが重要だと思う。定量的に把握しなさいというのが第5次総合計画の方針であった。定性的にということよく分からない評価になるからやっぱり定量的に評価しようというのが共通認識だと。全国的に比較するものがあったても、評価ができるかどうかは問題だと思う。最初の話に戻るとどういう考えで数値を決めたかということ。取りやすい数値と評価しやすい数値の狭間にあると思っている。</p>
会長	<p>いったんとりまとめて事務局から意見をもらいたい。貴重なご意見をいただいた。まずは市民の目線ということ。</p> <p>優先順位については100弱の指標の何を達成すべきか。それもおのずと市民目線で考えられることだと思う。</p> <p>また、課題の設定や目標の訴え方も工夫し、数字の見方として全国比較や他市のデータと比較する方法もある。</p> <p>それに高齢化などの影響などをどう捉えるのか。事務局よりご説明をいただきたい。</p>
並木主幹	<p>説明足らずの部分もあったかと思う。指標項目は総合指標と個別指標に分かれている。個別指標の進捗管理を行うことによって中柱に位置づけた総合指標を実現するという相関関係に基づいて設定した。</p> <p>各環境目標の実現度合いを図るために総合指標を設定している。</p> <p>指標項目について他市や県がどの程度かということについては議論されていないので今回それも含め検討材料にしていきたい。</p>
会長	<p>今の発言についてなにかあれば。</p>

委員	メガソーラー所沢の総発電量とあるが、メガである必要はないのではないか。メガソーラーは普通の樹林地を切り開いているのが現状であり、メガというこだわりは捨てていただきたい。
大館課長	これは北野の処分場に作ったとことこソーラー北野（メガソーラー所沢）に関する指標で、とことこソーラー北野（メガソーラー所沢）の総発電出力を達成するために、20年の運営を良好に続けていくという指標を立てた。
会長	この総発電量は固定価格でやるということで、指標としてはメンテの良し悪しのみになるがそれでいいのか。
大館課長	基本的にはそういうこと。メンテナンスによって発電量を維持していく。
会長	委員の指摘のとおりメガソーラーが有効かは議論が分かれる。太陽光以外の再エネの検討も必要ではないか。また二酸化炭素削減効果はメガソーラーそもそもの目的である。市ではやらないと思うが、貴重な森林を切り開いて行う主体もいるのでその辺りの有効性については確認すべき。
委員	<p>指標はつくったとき2年程かけてつくったと思う。これを1から検討しなおすにはこの会議では時間が足りない。この会議でどこまで腰を据えてやるかというのを明確にするべき。</p> <p>それと指標ができるとそれを達成することが目標になってしまう。あくまで指標は施策がどう動いているのかを見るためのもの。どこまで踏み込みたいかと考えているのか事務局に確認したい。</p>
大館課長	<p>改訂の視点としてどこを持つかだと思う。この4年間の社会情勢の変化、関係計画の策定などを反映させる。</p> <p>また過去3年間の成果が思わしくないもので目標値としてどうなのかというものを見直す。全体そのものを見直すことは考えていない。</p>
委員	今問題となった指標はマチごとエコタウン所沢構想に含まれた指標が多いが、既にマチごとエコタウン所沢構想で定めた目標値に関して審議会で変更をお願いできるのか。

大館課長	2-1 の 印がついているのがマチごとエコタウン所沢構想の指標である。著しくおかしい指標項目があれば、変更もありえるが昨年度議論したものであり、時間があまり経っていないため変更はないのではと考えている。
委員	メガソーラーのように言葉の独り歩きの問題がある。 それともう一点エコカー販売台数について、市外の人を買っていくこともある。実際走っている台数が重要なのでは。こういったところについても検討されたのかどうか。
大館課長	エコカー販売台数についてはご指摘のとおり。マチごとエコタウン所沢構想に基づく事業として、エコカー購入に対する補助を実施しており、市内の販売店に照会をかけてカウントしている。
委員	実売を把握できるということか。
大館課長	そのとおりです。
委員	学校で子どもと接しているせいか、「3 自然との共生」に関心を持った。雑木林が公園になった場所がある。良い場所だと思ったら、管理する人がいない。公園というのは名ばかりで状態を維持できていない。未来につなげるための若い人の協力も重要ではないか。3-1-3 ではみどりの創出箇所の指標項目があるが、箇所だけでなく若い人の公園管理等の人数を示した指標を加えていただけたらと思う。
会長	大変すばらしい指摘。今出た意見を何らかの形でフィードバックしてもらいたい。
委員	「4 健康な暮らし」の「4-4 悪臭の防止」について、駅に着いたときや自宅にいて鶏糞のような臭いがする。なんとか悪臭をなくしてほしい。
委員	委員のおっしゃった雑木林について、資料 2-1 の裏面「6 の環境づくりへの参加」のところにみどりのパートナー制度の参加者数がある。みんながつながりをもってやっていけばよくなると思う。市民同士の声かけが重要。

委 員	<p>自分はシルバー人材センターの理事している。所沢の公園をシルバー人材センターでなんかできないか、と検討している。</p> <p>それとところバスの運行本数は増えているのですか。</p>
並木主幹	<p>ところバスについては、路線の見直しを何年かおきに検討しており、その結果、運行本数も変化している。</p>
委 員	<p>シルバー人材センターは福祉部、学校は教育委員会など各団体には所管課がある。環境問題はいろいろ重なる問題であるため、環境部には調整能力を発揮してもらいたい。相互の部局の調整が大事。是非、頑張ってもらいたい。</p>
会 長	<p>資料 2-1 について発言をお願いしたい。</p>
委 員	<p>エコハウスについてもエコカー同様特典などがあるのか。</p>
大館課長	<p>国土交通省の事業にて低炭素建築物等認定事業があり、こちらに認定された住宅に補助金を用意している。既に本年度も相談がある状態。</p>
委 員	<p>高効率給湯器なども同様か。</p>
大館課長	<p>エネファーム等コージェネレーションシステムに補助金を用意している。</p>
委 員	<p>燃料電池車のインフラなども作る必要がでてくるのか。</p>
大館課長	<p>県の方からお話いただきたい。</p>
委 員	<p>燃料電池車が市場に出てきて価格が大体 700 万円とかで国の補助が 200 万円くらいと云われている。県では移動式含め 7 箇所の整備を進めていく。</p>
委 員	<p>個別指標をそれぞれ見ていくのは難しいのではないかと思います。</p> <p>例えば、総合指標などを大きく変えるのは難しいと思うが表現の仕方を分かりやすくするとか、数値の再検討するなどをした方が良いのかと思う。</p>

会 長	<p>大変重要な指摘。各個別指標は取り扱いが難しいが、総合指標をいかに扱うか。市民目線を徹底。総合指標をどう語るかを議論することも重要。</p>
委 員	<p>大柱の4,5,6は変更が少ない。4については作成時から状況が大きく変わっていないためだと思う。水質汚濁の部分で、例えば県では平成23年度、浄化槽も含め生活排水対策を進めてもらっているが、浄化槽が残るのであればその辺りも含めてこれからの生活排水対策を目指して少し変更してもらえるとありがたい。</p> <p>「6 環境づくりへの参加」は、みどりのパートナー制度の動きがあるところだと思うのでこのあたりも検討いただきたい。</p>
会 長	<p>資料2-2でご意見等あればいただきたい。</p>
委 員	<p>大気汚染について、市のみでの達成は困難ということは、もっともだが、こういうのは隣接自治体との連携はあるかどうか。</p>
大澤参事	<p>大気について連携ということではないが常時監視を5箇所を実施している。ほぼリアルタイムでネットで随時配信している。そういった意味では全国的に連携するシステムが出来上がっているといえる。個別に他市との連携はしていない。</p>
委 員	<p>情報共有レベルということか。</p>
大澤参事	<p>そのとおりです。かつてダイオキシンのときは連携があった。</p>
委 員	<p>今後何十年もある問題で、これから連携等の方針等はないのか。</p>
大澤参事	<p>個別には予定していない。河川は、つながっているので緊急時のネットワークを整備している。</p>
委 員	<p>水は空間的に限られているのでやりやすいが大気は大変だと思う。しかし広域連携がとられないと数値も横ばいになると思う。そのあたりもいずれ考えていかないといけないと思う。</p>
委 員	<p>県では様々やっていると思うが大気汚染は中国が犯人みたいなもので一市の問題ではない。市民はそれを知りたいと思う。県の取</p>

	<p>り組みはどうか。</p>
委員	<p>県では9都県市で連合会議を持ち、規制について検討。また最近 は中国の研究機関との連携などを行っている。大気は広範囲なので県 や国が積極的にならないといけない。</p>
委員	<p>「6 環境づくりへの参加」については、2012年に消費者教育推 進法が施行され、そこでは、持続可能な社会を目指した消費者市民 社会を目指している。消費者は社会構成要素の1つの重要な要素。 受身ではなく積極的に参画してよりよい社会をつくるという位置 づけをしており、自発的にやるというスタンスになっている。</p> <p>また、指標項目 89 の講座の内容と対象のレベルがあわないとい うは残念。もっとどういう風に環境学習を進めるのかということ を考えるべき。どのように検討されているか。</p>
大館課長	<p>十分か分からないが、市の出前講座などを実施している。この受 講者は小中学校が多いが、事後アンケートを行い、新たに環境活動 してみようと思った人の割合を出している。そのほか、全体の環境 活動は公民館等でやっている開催回数などを把握するようにして いる。</p> <p>ご指摘のとおり、事業者やNPOと協力してやっていこうという 観点があり、昨年度のメガソーラーに関しても事業者と連携して小 中学校に授業などを行う検討をしている。また市内 13 校に太陽光 の設置を予定しており、発電量のモニター等、環境教育につなが ると考えている。</p>
委員	<p>それは推進校などを指定しているのか。</p>
大館課長	<p>特に推進校などの指定はしていないが、市の事業「地球にやさし い学校大賞」という取り組みで環境活動が活発な学校を表彰してい る。</p>
委員	<p>資料 2-2 の 96 に自治会加入率がある。私は自治連合会の副会長 をしている。加入率が漸減しているのは残念。自治会加入の促進に ついて何をしてくれるのか、支援とは何か。具体的に何をするのか を整理して実践してほしい。</p>

委員	日本橋のほうの会社で町内会に入っていると、区の補助金がある。所沢ができるかわからないが、保障料の割引がある。参考まで。
委員	自治体・町内会について伺いたい。大柱6に入っているのは適正なのか。別の大柱に移動したほうがいいのでは。 加入率が上がることで市域の環境への取り組みに影響しているのか。また環境の取り組みをしている自治体でどれだけそういう取り組みがあるのか。 自治会の加入率については、防災等の助け合いと云う方がキャンペーンしやすいのではと思う。
大館課長	地域活動の促進のため環境推進員を委嘱しており、基本的には町内会が母体になるということで、ここに指標をおいている。おっしゃるとおり、町内会加入率自体が都市環境の創造などに関係ないわけではないので、ここにも重複するという書き方を検討する。
委員	自治会加入は条例化できないのか。
委員	自治会町内会は市民が地域に関心を持って何かをする集まり。その先に行政がある。ここでは環境の切り口から議論しているが自治会・町内会への参加は別の視点からも議論されるべき。 自分が住む600世帯の団地の自治会は全員参加で結束している。
会長	私も自治会活動は環境活動のベースと考えている。自分の研究では固定価格買い取り制度の原資はわれわれの電気代。どこの誰かわからないところに行っているのはまずい。だから地元主体で運営し、売電益を地域活動に使うという循環ができないかを研究している。
委員	今団地で企画しているのが、清掃に充てられるお金を原資にお年寄りに清掃に参加してもらい、そのときにエコマネーを出して、団地のスーパーで使ってもらうなど自治会との連携を検討している。
委員	先程の意見の中に、条例を制定とあるが6月に施行されているが、なかなか若い人たちは読まない。 それと、自治体の活動はそれぞれで、温度差がある。自治会も色々であることを頭に入れてほしい。

事務局	<p>(2) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の改訂について資料 2-3 に基づいて説明。</p> <p>< 質疑応答 ></p>
委員	<p>国の目標に従ってということだが、独自目標を立てようという審議は？</p>
大館課長	<p>県においても、当時の国の目標値をそのまま使っている。</p> <p>国の新目標値は原発が動いていない状態での数値として 3.8%。</p> <p>目標年度が違うのは環境基本計画が 8 年間の期間で平成 23 年度から平成 30 年度までとなっているため。</p>
委員	<p>県の立場から説明すると、25%維持ということだが原発の事故以降は家庭部門と運輸部門が伸びている。数値目標の見直しをかけている状況。</p>
委員	<p>短期は変動型、長期は固定型、つまり短期は状況によって見る、固定は平均を見るということか。</p>
大館課長	<p>国は変動型で算定しているが、2050 年の長期は年毎に排出係数の変動があるので、軸を定めたほうが良いということで固定型で検討している。</p>
委員	<p>人口減等の人口予測についてはどのように見込んでいるのか。</p>
大館課長	<p>最低限現状維持としている。</p>
	<p>(3) その他</p> <p>次回日程について、9月下旬～10月上旬で調整。</p>
	<p>閉 会</p>